



歯科と全身疾患 ～高血圧～

No.49

高血圧とは

糖尿病と同じく国民の4人に1人、3500万人が患うとも言われている高血圧症。実はこれも歯科と重要な関係があるのです。そもそも血圧とはなんでしょう？血圧とは心臓が血液を全身に送り届ける時に血管にかかる圧力のことです。そして、心臓が収縮して圧力が強くなっている時の血圧を**最高血圧**といい、拡張して圧力が弱まっている時の血圧のことを**最低血圧**といいます。高血圧の診断は日本高血圧学会のガイドラインによると、**最高血圧140mmHg、最低血圧90mmHg**以上で、一般に治療が必要とされています。一般に男性は40代、女性は50代以降に発症することが多く、また自覚症状もほとんどないだけに、気が付かないうちに進行し、脳卒中や心臓病などの合併症を引き起こす場合があります。

高血圧と歯科治療

血圧は精神的な緊張や肉体労働、季節や気温によって簡単に変化します。一般的に血圧は夏に低くなり、冬には高くなります。夏に下がるのは、暑さで血管が開くため、冬に上がりやすいのは、寒さのために血管が収縮するからです。暖かい部屋から急に寒いところに出ると血圧が上がったり、脳卒中を起こしやすいのもそのためです。歯科治療時は診療室に入ったり、診療台に座ったりするとそのストレスで血圧が10～20mm/Hg 上がると言われています。また、高血圧症の方が歯科治療を受ける場合に問題となるのが**麻酔と抜歯**です。麻酔薬の中には血管収縮剤という成分が含まれており、これにより血圧が上昇します。しかし、処方された薬で血圧がコントロールされている場合は心配はありません。また、抜歯の後、出血がなかなか止まらない可能性もあります。血圧が高いと出血する圧力も高いため、抜歯のストレスなどによってさらに血圧が上昇し、出血量が多くなる場合があります。

また、高血圧の治療薬の中には、前歯付近に見られる**歯肉増殖症**(歯ぐきが腫れた状態)を発症させる副作用があるものがあります。また、**最高血圧180mmHg**、あるいは**最低血圧110mmHg**を超える場合は、原則として歯科治療は困難であるとされています。しかし、かかりつけの医師で高血圧の治療をきちんと受けてコントロールされていれば、心配の必要はほとんどありません。

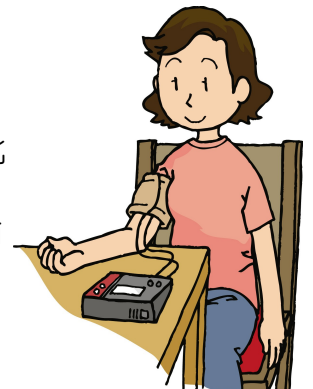
口腔ケアについて

しっかりとしたブラッシングを行い、プラークを除去することでお口のトラブルを防ぐことは



可能です。高血圧のお薬の副作用などによる口腔乾燥には頻繁にうがいをするなどして乾燥を防ぎましょう。また歯肉増殖に対しては、かかりつけの歯科医院で定期的に口腔清掃などの歯周処置を行うことで、抑えることが出来ます。

高血圧は、減塩の食事や適度な運動など生活習慣の改善に取り組み、必要ならば降圧剤の服用によりコントロールが可能な病気です。もしも高血圧を放置する事があれば、脳卒中や心筋梗塞などの重大な疾患につながる危険性があります。血圧の測定は比較的簡単に誰にでも出来ます。歯科医院の門をくぐる前に、ときどき血圧を測定してみたいかがでしょうか。



社団法人

柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

